



月潟中学校
学校だより

翔舞

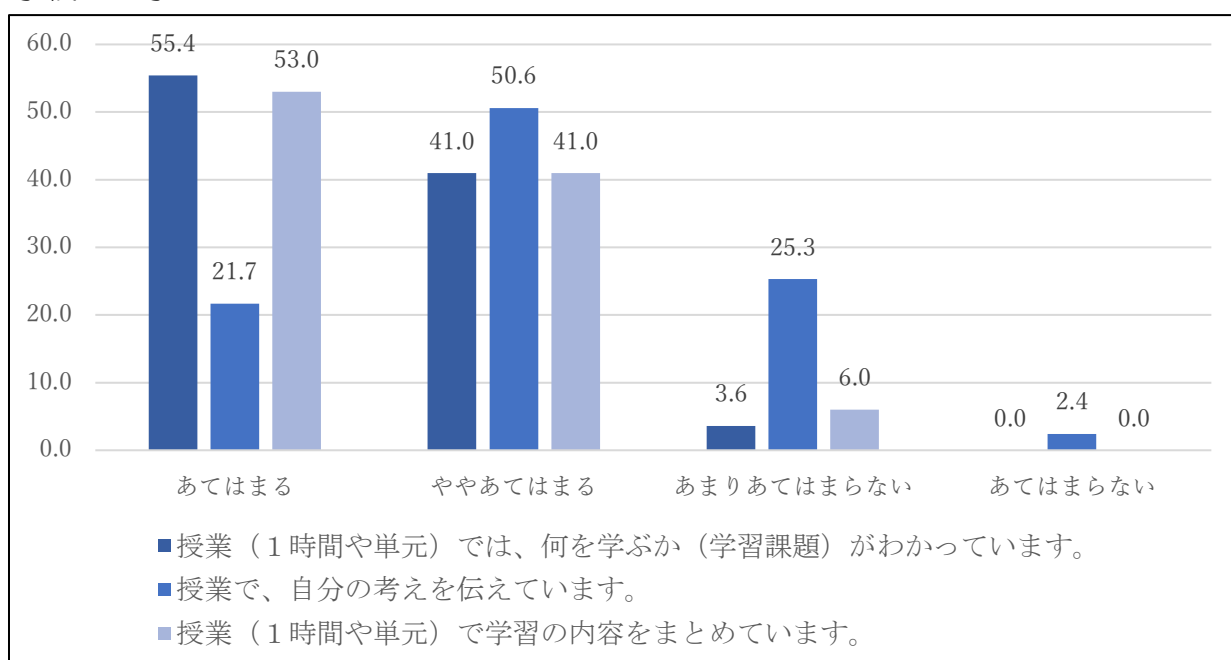


R8 第7号
令和8年9月9日
発行
新潟市立月潟中学校
新潟市 南区月潟740
☎：375-2106

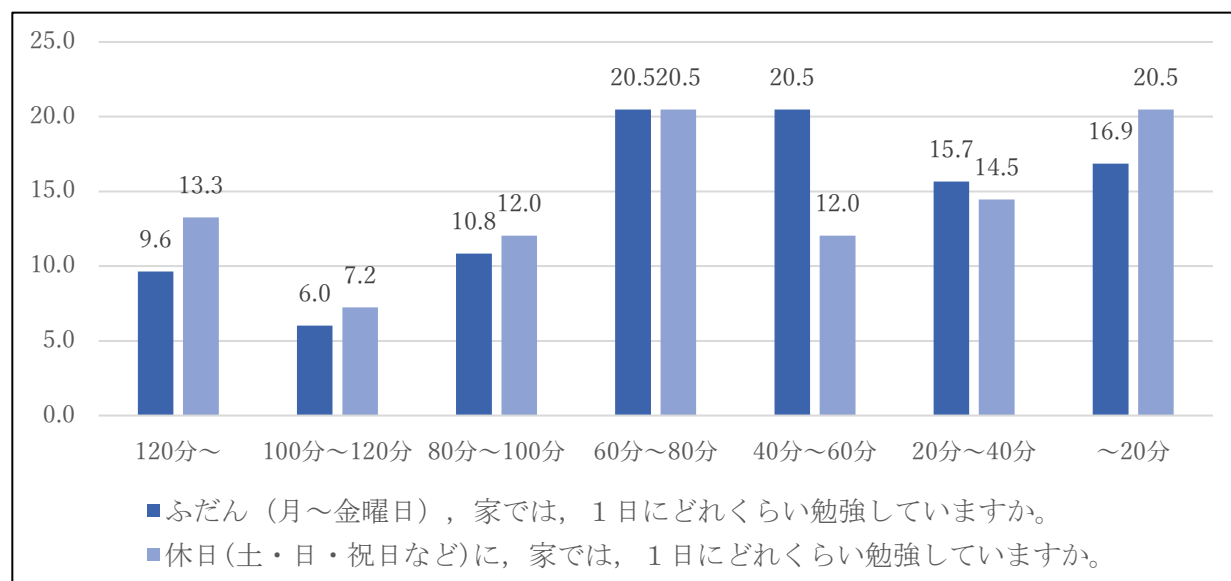
前期 生活学習意識調査の結果

7月に全校生徒を対象に「前期生活学習意識調査」を実施しました。月潟中学校で今年度高めたい3つの力「自ら行動する力（主体性、積極性）」「たくましさ（向上心、粘り強さ）」「共に生きる力（協調性、協働性）」が現在どの程度達成されているのかグラフにまとめました。なお数値は全てパーセントで示しています。

① 学校での学習について



② 家庭での学習について

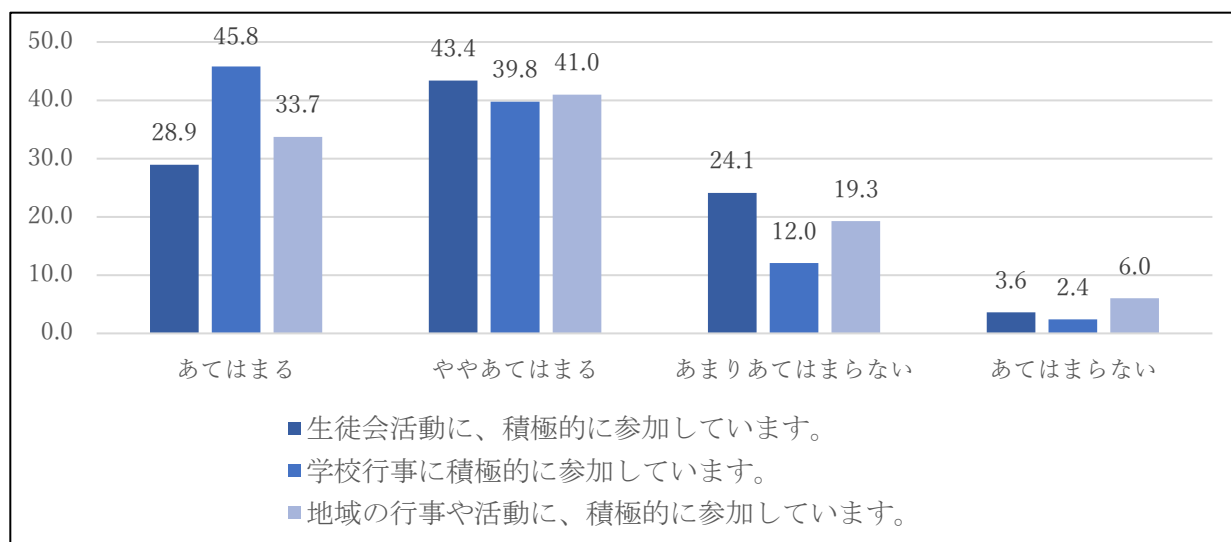


○ 学習の取組について

学校での学習では、「何を学ぶのか」「学習内容のまとめ」の項目に対し9割以上の生徒が肯定的な評価をしています。授業中、生徒は学習課題を理解した上で授業に臨み、学んだことをまとめています。一方、「自分の考えを伝えること」「学んだことや学び方を振り返ること」の項目は、肯定的な評価が7割になっており、苦手意識をもっている生徒がいることがわかります。学んだことを復習することは、家庭での学習時間の調査結果からも分析できるとおり、十分には行われていないことがわかります。授業中に学んだことが、自分にとって使える知識・技能となるよう主体的な家庭学習の充実・習慣化が生徒にとって今後の課題です。

また、職員にとっては、生徒の学習への主体性を伸ばすために魅力的な授業づくりが課題です。生徒の驚き、疑問、憧れ等を喚起し、学びの意欲を高め、仲間と協働して課題を解決していけるような授業づくりに取り組んでいきます。

③ 行事への取組について

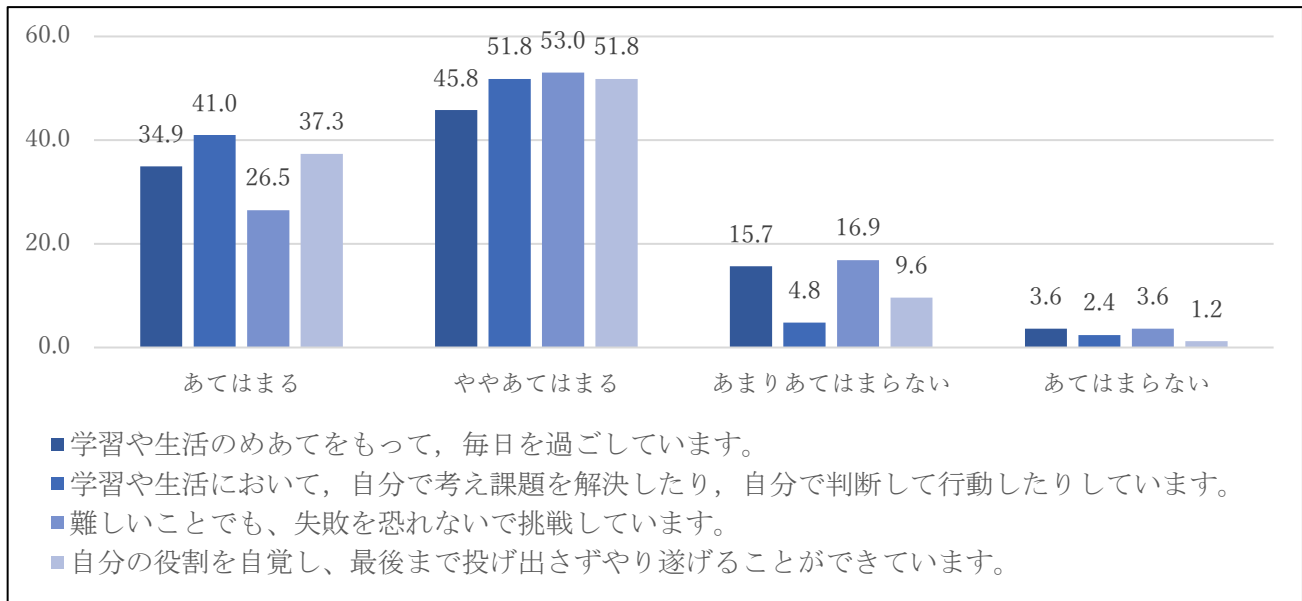


生徒会活動、学校行事、地域の行事や活動において、およそ7割以上の生徒が肯定的な評価をしています。今後、生徒会活動や学校行事については、体育祭と月輝祭が開催され、生徒の主体的な活動の場面が増え、肯定的な評価が高まることが期待されます。

一方で、行事に対してなかなか積極的にかかわれない生徒もいます。今後、職員をはじめ各リーダーが全校生徒に働き掛け、フォロワーも一体となって、共に活動できるような手立てを講じていく必要があります。これは「共に生きる力」の育成にも寄与します。

また、今回学校だよりで取り上げなかった調査項目に「自分が住んでいるまち（地域）への愛着を感じています。」「地域の大人の人とあいさつしたり、言葉を交わしたりしています。」という質問がありました。どちらの質問にも9割以上の生徒が肯定的な評価をしています。このことから生徒は、月潟地域への愛着をもっており、行事や活動に積極的に参加していることが伺えます。

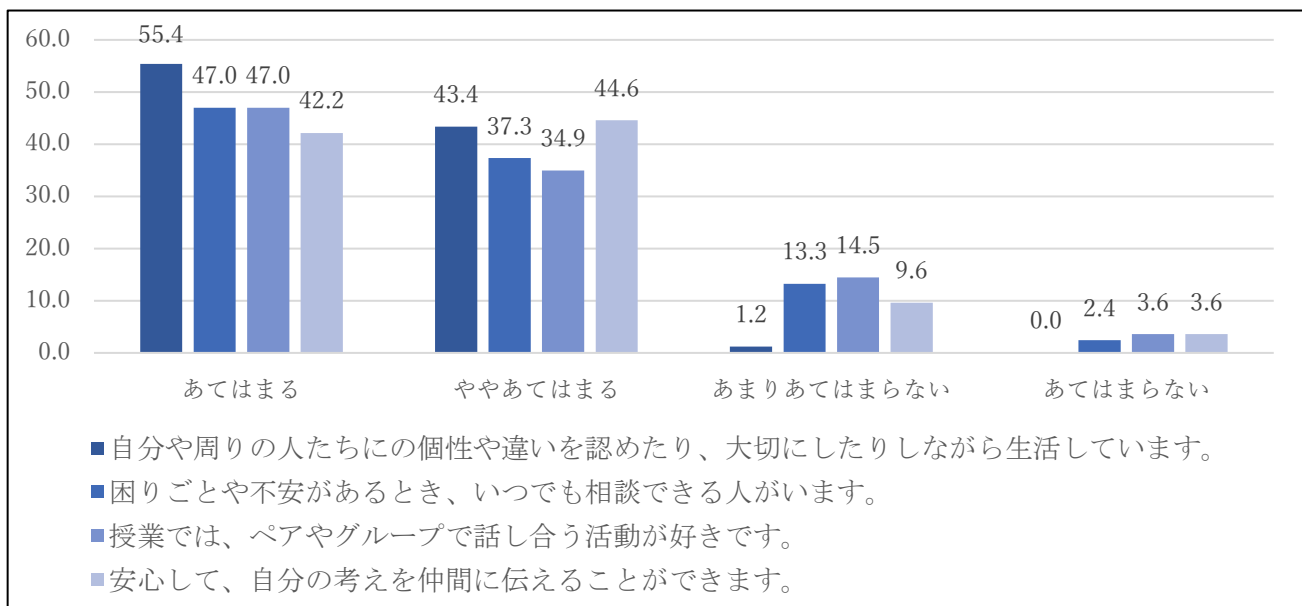
④ 主体性について



およそ8～9割の生徒が肯定的な評価をしています。しかしながら、その内訳を分析すると、4つの質問すべてで「ややあてはまる」の数値が高いです。特に、「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦しています」の質問では、「あてはまる」を選んだ生徒が26.5%、「ややあてはまる」を選んだ生徒は53.0%となっています。

このような結果を受け今後は学校行事を通して、「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦しています」の「あてはまる」の数値を高める取り組みを進めていきます。失敗してもその経験が自分自身や集団の成長につながることを体感させ、価値付けていきます。

④ 協調性、協働性について



自分の考えを相手に伝えることについて、授業中と日常を比べます。

授業中は、①の「学校での学習について」のグラフの通り、およそ7割の生徒が肯定的な回答です。一方日常では、④の「協調性、協働性について」のグラフの通り、8割以上の生徒が肯定的です。また、「授業でペアやグループで話し合う活動が好きです」の回答に注目すると、およそ8割の生徒が肯定的な回答です。

この結果から、全体としては、授業中も日常も安心して自分の考えを伝えることができているものの、授業中になると、自分の考えを伝えることを躊躇している生徒の割合が増えていることがわかります。

今後、生徒が互いを尊重し、認め合えるような活動を組織し、学級の支持的風土がより一層醸成されるように努めます。これにより、授業中も安心して自分の考えを伝えることができる生徒が増えるよう支援していきます。加えて、生徒が「話し合ってよかった」と成長を実感できる話し合いの場面や方法を練り直していきます。